



NEWS RELEASE

2025年6月13日
ヤマトホールディングス株式会社

米国の水産業の進化を目指すShinkei Systems Corp.に出資

ヤマトホールディングス株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:長尾 裕、以下:ヤマトHD)は、「KURONEKO Innovation Fund 2号(以下:KIF2号)」(運営者:グローバル・ブレイン株式会社)を通じて、自動で魚の神経締め※¹処理を行うロボットの開発や垂直統合型※²の水産事業を展開するShinkei Systems corp.(シンケイ システムズ コーポレーション)(本社:アメリカ合衆国、CEO:Saif Kawahaja、以下:Shinkei)に出資を実行しました。



＜「Poseidon」で神経締めされた魚＞

神経締めをはじめとする活締めは、漁獲した魚の鮮度や美味しさを長く保つ技術として日本では広く普及しています。一方、米国ではこうした加工技術が十分に浸透していないため、流通過程で鮮度が落ち、魚が大量に廃棄されるという課題があります。

Shinkeiは、米国の水産業の進化を目指すスタートアップです。このような社会課題を解決するため、船上での魚の神経締めを自動化したロボット「Poseidon(ポセイドン)」を開発しました。さらに、漁師と協力し、漁獲から加工・卸売りまでを一貫して手がけています。Shinkeiの先進的な技術と垂直統合型のビジネスモデルによって実現した高品質な魚は、米国の一流レストランで提供されているだけでなく、漁師の業務効率化や、食品廃棄ロス削減への寄与が期待されています。

今回KIF2号は、Shinkeiの技術開発の優位性や事業の成長性や業界のビジネスモデル構築に取り組む姿勢などを評価しました。本出資を通じて、ヤマトグループとShinkeiが持つ技術と知見を相互に提供し、「新たな物流」「新たな価値」を創造していきます。

■ **Shinkei Systems Corp.**について

設立: 2021年4月

本社所在地: California, United States

代表取締役: Saif Kawahaja

事業内容: 魚の鮮度を保つ商業用魚加工技術の開発と捕獲から加工・卸売りまでを一貫した垂直統合型の水産事業の展開

ホームページURL: <https://www.shinkei.systems/>



※1 捕獲した魚の状態を新鮮に保つため、魚の神経を破壊して死後硬直を遅らせ、魚の臭みや腐敗を抑制する活締め技術。

※2 製品の製造やサービス提供において、原材料の調達から販売までの一連のプロセスを自社で完結させるビジネスモデル。

【お問い合わせ先】

＜法人の方＞

ヤマトホールディングス株式会社 イノベーション推進担当

MAIL: innovation@kuronekoyamato.co.jp

＜報道関係の方＞

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略担当

TEL: 03-3248-5822

【参考】

＜プレスリリース＞

CVCファンド「KURONEKO Innovation Fund 2号」を80億円で設立(2024年5月15日)

URL: https://www.yamato-hd.co.jp/news/2024/newsrelease_20240515_1.html

＜KURONEKO Innovation Fundホームページ＞

URL: <https://www.kuroneko-v.com/>



KURONEKO
Innovation Fund